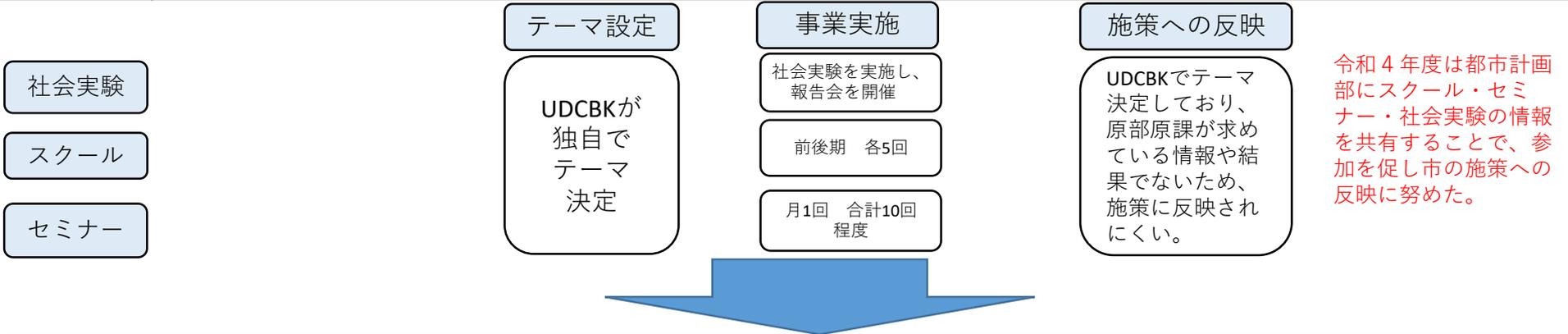


市（主に都市計画部）との連携強化について

これまでの進め方

- ・スクールは市民と専門家をつなぐコミュニケーターを育成することを目的に、専門家から体系的に学べる機会を提供し今後のまちづくりに活かす。
- ・セミナーは広く市民がアーバンデザインを身近に感じられるよう、テーマごとの相互学習の場と機会を提供し、市民の関心を高める。
- ・社会実験はUDCBKにおいて課題と思われるもの（R4は南草津ビジョンを重視）をテーマとし、包括協定を締結している大学に対し募集を行い課題解決につなげる。



来年度の進め方

- ・社会実験、スクール、セミナーともに市の施策への反映ということを重視し事業を進めることにする。
- ・UDCBKの目的である「長期的な見通しを持った都市デザインの構想」を勘案し、社会実験・スクールについては都市デザイン（ハード整備に関するものだけでなく、公共空間の活用などのソフト的な取り組み）に特化する。セミナーについてはハード的な取り組みだけでなく、ソフト的なまちづくりに関する取り組みについてもテーマ設定ができるようにし事業を進める。

